

# 介護・福祉事業所の業務は、 無料のAIでこんなに変わります。

## ? こんなお悩み、ありませんか

### 1 介護保険の条例・制度を確認したい

#### 現在

市役所に電話、担当不在で折り返し。  
該当条文を分厚い資料から探す。  
半日かかることも。



#### AIを使うと

ノートブックLMに聞くと出典付きで即答。  
「訪問介護30分の単位数は？」→  
「244単位です[条例12]」。3秒で解決。

### 2 相談記録・会議の議事録を作る

#### 現在

会議中にメモを取り、終了後に清書。  
1件あたり2~3時間、  
残業の常態化。



#### AIを使うと

話すだけで音声入力、AIが要約。  
15分で下書き完成、  
職員はケースに集中。

### 3 当番表・シフトを作る

#### 現在

担当者が週末に持ち帰って作成。  
作れる人が限られ、  
交代要員がない。



#### AIを使うと

制約条件を入れれば自動生成。  
誰でも作れて、属人化を解消。



### ただし、ツールを入れるだけでは定着しません。

本当に必要なのは、「どの業務を、どのAIに、どう置き換えるか」をしっかり設計すること。  
機器だけ入れても、現場では使いこなせず埋もれていきます。



### 現場で実際にAIを使える状態まで、伴走します。

貴事業所に講師が伺い、実際の業務と一緒にしながら、どのAIをどう使うかを決め、  
使える形に落とし込むまでお手伝いします。無料AIだけで、ここまで変えられます。

# 現場に寄り添う、伴走型の研修です

## ✓ 研修の内容 (全10時間・1人あたり4万円)

第1回

2h

### 今の業務の課題を特定

相談対応・記録作成・シフト作成・会議運営などを図にする。誰に頼り、どこが止まりやすいかを特定。

できあがる：自事業所の業務図

第2回

2h

### AIに任せる所を決める

「AIに任せる／無料ツールで置き換える／やめる・減らす」に分ける。優先順位をつけた計画を作成。

できあがる：改善計画 (優先順位つき)

第3～5回

6h

### 現場で使える形に

ChatGPTやGeminiなどを、貴事業所のデータを使って実際に動かす。講師が現場に立ち会い伴走。

できあがる：実際に動くAI・ツール環境



### 他との違い

動画視聴やオンデマンドだけで終わる研修は「見ただけで現場では使えない」ことが多い。本研修は講師が貴事業所に伺い、実際の業務と一緒にしながら、AIを使える形に落とし込むまで伴走します。



### 費用・実質負担

人材開発支援助成金  
(リスクリング支援コース)活用

研修費用 1人 4万円

→ **実質負担 0円**

※ 中小企業 (訓練経費75%・賃金助成1,000円/時) で試算。助成金の受給には計画届の事前提出・労働局認定が必要。受給可否は労働局審査により決定します。



### 申込みから実施までの流れ

STEP 1

お申込み・ヒアリング

STEP 2

訓練1か月前：計画届を労働局へ提出  
(当社が作成支援)

STEP 3

訓練実施：研修実施 (実質1~2日で完了)

STEP 4

訓練後2か月内：支給申請書類を労働局へ提出

STEP 5

申請後数か月：審査後、助成金が法人へ入金



### 今が最適なタイミング

人材開発支援助成金は令和8年度末 (2027年5月) で終了予定。実施1か月前までに計画届の提出が必要。

### ※ 私が研修・ご相談に対応します。



#### 代表取締役 金子 萌

東京大学教養学部卒業。44歳で若年性パーキンソン病と認知症を発症した父を、17歳から14年以上ヤングケアラー・ダブルケアラーとして自宅で介護。外資系コンサルティング会社を経て、自身の経験から2022年に株式会社想ひ人を創業。英国BBC、TBS、日経新聞、読売新聞などメディア掲載実績多数。

#### 株式会社想ひ人について

業務の見える化から、AIを使える形に落とし込むまで、一貫してお手伝いできるのが強みです。副代表 山崎は社会福祉士として24年・12,000件の相談経験。

実績：豊橋市 / 社会福祉法人さわらび会 / 経産省 Open Care Challenge 2025 採択 / トヨタ財団研究助成採択 / 日経「向き合う」連載中

#### CONTACT

Web: omohibito.com  
LINE: lin.ee/YB8IEJi